

みんぱく 年末ワークショップ

みんぱくはく村に
神楽がやっ
て来る！



伊勢大神楽実演とおはなし

令和元年12月14日(土) 13時～15時30分

国立民族学博物館。特別展示館1階

講師

神野知恵

神楽奉納

伊勢大神楽講社

山本源太夫 社中

国立民族学
博物館
機関研究員



不要料
参加無
申込

国立民族学博物館
みんぱく村

みんなく村に 神楽がやってくる!

伊勢大神楽 実演とおはなし

伊勢大神楽が「みんなく村」の歳末のお祓いにやってきます。



日時：令和元年 12月 14日 (土)
13時00分～15時30分
場所：国立民族学博物館 特別展示館 1階
定員：200名 (参加無料/事前申込不要/出入自由)
※ワークショップ中に、映像を撮影します。これら撮影したものをみんなくの広報や研究の目的で使用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。



いせだいかぐらこうしゃ やまもとげんだゆうしやちゆう
出演：伊勢大神楽講社 山本源太夫社中

伊勢大神楽は三重県桑名市を発祥の地とし、西日本各地で獅子舞や曲芸を演じながら旅を続ける人びとであり、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。山本源太夫社中は伊勢大神楽講社の五社中を率いる宗家で、家元の山本源太夫を中心に10名程の男性の神楽師によって構成される。

かみのちえ
講師：神野知恵 (国立民族学博物館 機関研究員)

民族音楽、民俗芸能研究者。特に韓国の打楽器芸能「農楽」や、日本の神楽などが家を廻って演じる儀礼を専門とする。2017年から伊勢大神楽の研究を始め、近畿、瀬戸内など各地を共に歩いた。日韓の芸能を紹介する公演・ワークショップなども多数手がける。



飛び出す獅子舞福ぬりえ
つくってかざって厄ばらい!
おうちでも伊勢大神楽を楽しめる、
立体ぬりえカードを当日配布!

新年 1/11(土), 1/12(日) にも
福ぬりえで遊べるワークショップを開催!
※神楽の公演はありません。

時間：10時～17時 (ぬりえ最終受付 16時30分)
場所：国立民族学博物館 エントランスホール(本館1階)
定員：各日、先着 150名



伊勢大神楽とは、一年に一度、同じ時節に家々を訪ね、お祓いをして神符を授け、玄関先や座敷で獅子舞や曲芸を奉納する人びととその芸能のことです。神楽師を担う人びとは、今でも一年のほとんどを旅先で過ごしています。

当日は、みんなくの特別展示館を村の広場に見立て、皆さんで村人になって大神楽の到来を迎えましょう。獅子舞や曲芸の演舞だけでなく、神楽師さんたちの旅暮らしについてお話を聞ける貴重な機会です。

「みんなく村」の広場から笛や鉦の音が聞こえて来たら、さあさあ、神楽のはじまりだ!

「良きことは獅子とともに、悪しきことは獅子が持つていってくれる」と言われています。

終演後は、ゆく年の厄祓いとして
お獅子さんに頭を噛んでもらいましょう!

ちらし表面題字・デザイン：斎藤晋 (山本源太夫社中)

国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

- 開館時間……… 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 観覧料……… 一般 580円/大学生 250円/高校生以下 無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。
- 休館日……… 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 交通のご案内
- 大阪モノレール… 「万博記念公園駅」、「公園東口駅」徒歩約15分
- バス……… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車……… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

※大学生・一般の方は自然文化園(中央口、西口、北口)窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。 ※高校生以下の方が自然文化園(有料区域)を進行される場合は、自然文化園(中央口、西口、北口)有人窓口で、みんなくへ行くこととお申し出いただき、進行証をお受け取りください。 ※東口からは、自然文化園(有料区域)を進行せずに来館できます。 ※自然文化園(有料区域)をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

[お問い合わせ]
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
企画課 博物館事業係
Tel: 06-6878-8532(日祝を除く 9:00-16:00)
Fax: 06-6878-8242
http://www.minpaku.ac.jp/

